

1. 基本情報

- (1) 国名：セネガル共和国（以下、「セネガル」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ティエス州ティエス市
- (3) 案件名：ティエス州病院拡張計画 (The Project for the Expansion of the Regional Hospital in Thies)
- (4) 計画の要約：本計画は、ティエス州病院の拡張及び医療機材整備を行うことにより、ティエス州及びその周辺地域における非感染性疾患(NCDs)を主とした診断・治療体制の強化を図り、もってセネガルの強靱な保健システムの構築を通じたユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)達成及びポストコロナ保健投資計画である「ポストコロナ保健投資計画 2020-2024」(PIS)の実現並びに格差是正、レジリエンス強化に寄与する事を目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

セネガルは、1960年の独立以来、安定した民主政治が行われている西アフリカの代表的な民主主義国家であり、アフリカ連合(AU)及び西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)に積極的に関与するなど、域内で中心的な役割を担っている。また、西アフリカ諸国へのエントリーポイントの一つとして、流通を始めとする経済社会活動の地域拠点となっていることから、同国の安定と発展は同国のみならず西アフリカ地域の安定と発展にとっても重要である。

同国は、国際機関選挙等の国際場裡において我が国を支持する友好国である。2019年にはサル大統領が2度訪日し首脳会談を実施し、また、本年1月には茂木外務大臣(当時)がセネガルを訪問し、大統領、外相等と会談を行うなど、良好な二国間関係を維持しており、引き続き国際場裏における協力関係を維持するためにも経済協力を通じて良好な関係を築いていくことが重要である。

我が国はこれまでもセネガルに対して技術協力等で保健医療分野における支援を実施してきており、サル大統領から茂木大臣(当時)に対しても保健医療分野における更なる協力要請がなされていることから、セネガルとの二国間関係において本計画実施の意義は大きい。

- (2) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

セネガルにおいては、マラリアや結核等の感染性疾患を原因とする死因の割合が高かったが、近年、糖尿病やがん、循環器疾患等の非感染性疾患(以下「NCDs」という)が増加しており、セネガルにおける死因の42%を占めている(WHO NCDs country profiles、2018年)。また、セネガルにおける新型コロナウイルス感染症の死亡者のうちの97%がNCDsの併存疾患を持っていたことが判明しており(保健社会活動省、2021年)、NCDsの早期発見・診断が新型コロナ対策においても重要性を増していることから、緊急的な対応が必要な状況である。他方で、同国における人口

1,000人あたり総病床数は0.3(2008年)と、サブサハラ・アフリカや世界の低中所得国の平均(それぞれ1.2、0.8)と比較しても劣悪な状況にあり(WHO Global Health Observatory)、とりわけNCDsの診断・治療に必要な医療機材が整備された施設が不足している現状である。

保健社会活動省(MSAS)は「国家保健社会開発計画2019-2028」(以下「PNDSS」という)を策定し、①保健・社会福祉分野の財政及びガバナンスの強化、②保健・社会福祉のサービス提供の発展、③社会的保護の促進の3つを柱として、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を目指す中で、近年患者数が顕著に増加しているNCDsへの対応を上位政策の一つとして掲げている。また、PNDSSでは、適切な保健インフラの不足を主要課題の一つとして挙げ、MSASが定める基準に沿った医療施設や機材の整備を目標として掲げている。さらに、新型コロナウイルス感染症の流行を受け、同国は「ポストコロナ保健投資計画2020-2024」(以下「PIS」という)を策定し、新型コロナウイルス感染症の対応を含む保健サービスの質の改善策の一つとして病院整備に注力し始めている。

首都が位置するダカール州の東に隣接するティエス州は、人口約220万人でダカール州の約390万人に次いで2番目に多く(セネガル人口統計庁、2021年)、州の面積は6,670km²とダカール州の約12倍である。他方、公立病院は、ダカール州には計14施設が存在する一方、ティエス州では計3施設に留まっており、患者が集中し、恒常的な混雑に繋がっている。このうち州唯一の高次医療施設であるティエス州病院は、同国の東西南北の幹線道路が交差する交通の要衝に位置していることから、高次医療施設が不足している国内他州から患者が移送・転院してきている他、隣国のガンビア、ギニア、ギニアビサウなどから来院するケースもある。同病院の年間診察件数は近年増加しており(2015年:100,904件→2019年:118,297件)、利用者の多さからも病棟拡張の緊急性・優先度が高い。中でも循環器科の診察件数は、昨今の食生活の変化などの影響を受け2015年の2,735件から、2019年には5,553件と2倍以上になっており(RAPPORT DE PRESENTATION DU RAPPORT DE GESTION、2017~2019年)、NCDs患者の増加が顕著である。しかしながら、病院内の煩雑な移動動線によって引き起こされる混雑による受け入れ能力不足、NCDs診断・治療に必要な高度医療機材の不足・老朽化等により、急増するNCDs患者に適切な医療サービスを提供することが困難な状況が続いている。このため、NCDs患者の受入数の増加に対応し、より高度な治療提供体制の整備を可能とするため、現在患者の診察効率の妨げとなっている移動動線の改善を含む施設拡張及び機材整備が必要である。

ティエス州病院は、技術協力「母子保健サービス改善プロジェクトフェーズ3(PRESSMN3)」(2019年~2024年)、「看護師・助産師の臨地実習の質向上プロジェクト」(2022年~2025年)の対象施設であり、同市内にあるティエス大学医学部等とも連携しながらより質の高い看護師・助産師等の育成にも貢献すると考えられ、それによる医療サービスの向上に繋がる相乗効果が期待できる。技術協力「コミュニティ健康保険制度及び無料医療制度能力強化プロジェクト(Dooleel CMU)」(2018年~2021年)では、対象州の一つとしてティエス州でもコミュニティ健康保険の加

入促進等を行っており、本計画により地域で受けられる保健医療サービスのレベル向上及び混雑緩和によって病院へのアクセスが改善することで、同地域の住民にとって健康保険に加入することの動機づけの一つとなることが期待される。開発政策借款「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ支援プログラム（フェーズ2）」（2021年～2024年）の政策アクションの一つである「保健情報・保健人材・薬剤管理ツール（OGRIS）」の講師養成研修及び医療従事者研修について、ティエス州も対象に含まれており、より正確なデータ管理能力が強化されることにより、医療サービスの質の向上に繋がる相乗効果が期待できる。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容

【施設】新診療棟の建設（一般内科、糖尿病科、循環器科、頸耳鼻咽喉科、眼科、神経科、顎顔面外科、口腔科、泌尿器科、入院病棟、心臓病関連検査室等（以上、既存診療棟から移設）、腎臓科、がん科（以上、新設診療科））。既存病院建物面積15,320 m²に対して、総延床面積約3,900 m²の2階建て1棟を想定。

【機材】新診療棟に必要な医療機材（ECG、負荷心電計、エコー、MRI等）、医療備品（入院用ベッド、診察台等）、既存施設の一部医療機材更新（高圧滅菌器、一般X線撮影装置、CTスキャナー等）。

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、施工・調達監理、機材の運用・維持管理体制構築の為の技術指導等。

② 期待される開発効果

病院の拡張と医療機材の整備を通じた年間診察件数（118,297件：2019年）の増加により、同国の強靱な保健システム構築を通じた、同州（約220万人）及びその周辺地域、周辺国住民に対する感染症やNCDsの早期診断及び治療体制の強化への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：保健社会活動省

他機関との連携・役割分担：他機関との支援の重複はない。

④ 運営／維持管理体制：施設拡張に伴う人員配置や施設及び機材の維持管理は、保健社会活動省により配賦される予算に基づき行われる。

(2) その他特記事項

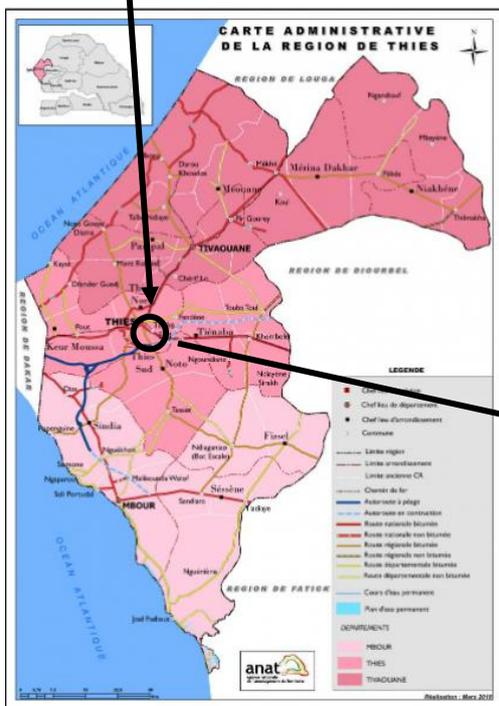
- 環境社会配慮カテゴリ分類：C
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）。
- 他の援助機関の対応：同国の保健セクターでは、世界保健機関、世界銀行、UNICEF、UNFPA、USAID、Enabel、AFD、LuxDev、KOICA等の援助機関が、母子保健、保健財政・ガバナンス、薬剤サプライチェーン強化、新型コロナ対策などの分野を中心に、政策・制度、技術面での支援を行っている。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

ケニア共和国「西部地域県病院整備計画」の事後評価（2012年）では、病院施設・医療機材が整備された結果、医療サービスの質の向上、患者満足度向上により利用患者数が増加した一方で、医療従事者（医師・看護師等）は増えていないため、医療従事者一人当たりの対応業務増加による負担が指摘され、医療従事者の配置についても検討し、関係者と対応について事業開始前に合意を得る必要があるとの教訓を得ている。本計画では、今後の医療従事者の増員計画について、関係者間で協力準備調査中に十分な協議を行い、必要人員が確保されるようにする。

以 上

[別添資料] ティエス州病院拡張計画 地図



出典：Google map、セネガル共和国国家空間計画庁